

高齢者のがん医療を考えよう 公開シンポジウム

心身機能が衰えてくる高齢がん患者の治療・・・元気な高齢がん患者であれば、非高齢者と同等の標準治療を受け、がん治療のベネフィットを得ることができますが、全身状態の悪いがん患者ではベネフィットを享受できない可能性があります。どういった方が、どこまでの治療を受けるかを考える際には、医学的な情報だけではなく、社会や家庭環境など患者が歩いてきた人生の背景や価値観なども考慮した検討が必要です。

そこで、本公開シンポジウムでは、先般検討された「プレレイル高齢大腸がん患者のための臨床的提言」をもとに、提言にいたった背景や内容（ポイント）、そして、そこでの課題などを学び、患者、家族とともに、これからの高齢者医療について議論したいと思います。

高齢者のがん医療に関わっている方、また、ご興味がある方は、ふるってご参加ください。

- 日時：3月6日（土）13：30～15：30（5分前から入室できます）
- 開催方法：オンライン会議システムZOOMを使用します
（参加受付後、後日ZOOMのURLリンク、パスワードなどを連絡します）
- 参加費：無料
- 募集人数：100人（先着順）
- 申込方法：下記のURLまたはQRコードから必要事項を入力し、お申し込みください
- 申込〆切：3月3日（水）17：00まで



お申込みURL➡

<https://ws.formzu.net/dist/S83143805/>

時間	演者	テーマ
13:30-13:35 注意事項の説明		
13:35-14:10 挨拶・基調講演	田村和夫先生（福岡大学 名誉教授）	「高齢者のがん医療」～厚労科研研究事業、みなさんのWeb調査から学んだこと～
14:10-14:30 ディスカッション①	唐澤久美子先生（東京女子医科大学 放射線腫瘍科 教授）	「がん医療の目標と医療者の基本姿勢」
14:30-14:50 ディスカッション②	田村和夫先生（福岡大学 名誉教授） 小川朝生先生（国立がん研究センター 東病院 精神腫瘍科）	「心身の機能と“適正な”がん診療」 指定発言 「認知症の方のがん治療」
14:50-15:10 ディスカッション③	海堀昌樹先生（関西医科大学 外科）	「高齢癌患者に対する手術について」 ～肝臓癌での検証～
15:10-15:30 総合討論	田村和夫先生（福岡大学 名誉教授） 山本寛先生（東京都健康長寿医療センター 呼吸器内科）	全体のまとめ 指定発言 「仮）老年医学の立場からコメント」
15:30 閉会の挨拶	田村和夫先生（福岡大学 名誉教授）	

※パネルディスカッション登壇者：天野慎介・櫻井公恵・松本陽子・桜井なおみ

主催：厚生労働科学研究費補助金「高齢者がん診療指針策定に必要な基盤整備に関する研究」班
共催：一般社団法人全国がん患者団体連合会